

## 中国の新しい東北振興戦略 —政策の背景、内容と未来展望—

吉林大学東北アジア研究院副院長

吳昊

2015年、遼寧、吉林、黒龍江3省のGRP成長率はそれぞれ3.0%、6.5%、5.7%まで下がり、中国31省の中で最下位、最下位から3番目と同4番目となった。東北三省は全国で最も経済状況が厳しい地域であると言ってよい。これを背景に、中央政府は新たな東北振興戦略を実施することにした。

2016年4月24日、『中共中央・国務院の東北地域等旧工業基地の全面的な振興に関する若干の意見』が正式に発表された。これは新しい東北振興戦略の方向を導く指導的な政策文書であり、新段階に入った東北振興の基本構想と発展目標を示すものである。体制・メカニズムの改善、構造調整の推進、イノベーション・起業への支援、民生の保障と改善の四つの面から重点的な任務を明確にした。

2016年8月16日、『東北地域等旧工業基地振興を推進する3年スクロール実施方案（2016-2018年）』が国家発展改革委員会によって発表された。同『実施方案』は、2016-2018年間で実施すべき137項目の重点事業を明確にした。そのうち、2016年は85項目、2017年は36項目、2018年は16項目である。また、同『実施方案』では2016-2018年東北振興の重点プロジェクトも示した。プロジェクトは合計127件、総投資額は12,815.5億元に達する見込みである。このうち、2016年には62件が始動し、投資額が6,161.5億元と推定される。2017年には33件、投資額が2,731.5億元、2018年には32件、投資額が3,922.5億元と推定される。これらのプロジェクトはインフラ整備を中心に、高速鉄道・一般鉄道・高速道路・空港・港湾・地下鉄・電力輸送施設・水利工事などが含まれている。一般の産業プロジェクトも盛り込まれている。

2016年11月、『国務院の新たな東北振興戦略を着実に実施し、東北地域経済の安定成長と振興を加速する若干の重要措置に関する意見』が発表された。同『若干の重要措置に関する意見』は、長期的な経済発展の観点から東北地域の問題解決に注目すると同時に、各事業の短期的・応急的な目標も考慮した。目下、東北地域は依然として経済の相対的な衰退から完全に脱出しておらず、遼寧、吉林、黒龍江3省のGRP成長率は全国最下位にとどまっている。これは、東北振興が短期的な任務ではなく、長く果てしない過程であるということを示している。制度の改革であれ、新興産業の育成であれ、どちらにも長い時間が必要であろう。当然ながら、東北地域は独特な発展の優位性を多く持っている。北東アジア地域をめぐる緊張の情勢は根本的に改善された場合、この地域の協力は大きい促進され、中国の東北地域の対外開放と振興発展も新しい段階に入れるだろう。

[ERINAにて翻訳]